

包装界・10大ニュースとは

「包装界・10大ニュース」は、1968年から半世紀以上続く、日本包装管理士会の代表的な事業です。

毎年、その年の包装業界で注目すべき出来事を会員の投票と選定委員会によって決定し、翌年1月に発表しています。

発表内容は、会のホームページや専門誌『包装技術』『包装タイムス』に掲載されるほか、TOKYO PACKの会場などでも紹介されています。業界を俯瞰する貴重な資料として、多くの関係者に活用されています。



包装界・10大ニュースの選定プロセス

1 分析と選定

「包装界10大ニュース」の選定プロセスについてお話しします。毎年、私たちは包装業界全体を取り巻く最新のトレンドや課題を分析し、業界にとって特に重要な10項目を選定しています。

2 選定基準

この選定プロセスには、いくつかの基準があります。まず、技術革新や新しいビジネスモデル、法規制の変更などが候補になります。

3 会員からのフィードバック

さらに、会員からのフィードバックやアンケートも非常に重要な役割を果たしています。私たちは、会員の皆様の声をしっかりと反映し、業界全体の意見を集約して発表を行っています。



10大ニュース 昨年の選定結果



2024年 包装界10大ニュース トップニュース

国内企業によるリサイクル技術の進展：

6社連合は、詰替えパックの水平リサイクル技術を確立し木下賞を受賞。D社は紙とフィルムを分離できる「易剥離トレイ」を開発し、G社は異種フィルムを分離・再利用する技術で経済産業大臣賞を受賞しました。



物流の2024年問題

2024年4月からトラックドライバーの時間外労働に年間960時間の上限が適用され、輸送力不足が深刻化。大手飲料メーカーS社はペットボトルの軽量化とケース設計の見直しにより、輸送効率を1割以上改善しました。





振り返りと参加者の声

IPPラウンジにて振り返り

「包装界・10大ニュース」は、発表して終わりではありません。翌年に振り返り会（リモート勉強会形式）を実施し、ニュースの背景や影響について理解を深めています。

IPPラウンジ 参加者の声

「断片的だったニュースを俯瞰でき、業界の傾向が整理できた」

IPPラウンジ 参加者の声

「知らなかった情報を知る機会になった」

IPPラウンジ 参加者の声

「自社の課題意識につながった」

最後に

「包装界・10大ニュース」は、会員の皆さまの参加とフィードバックによって成り立っています。一つひとつの投稿やコメントが、業界全体を映し出す鏡となり、未来の包装業界をつくる礎となります。

